

俳句を写真画像と共に楽しむ <奇数月28日発刊>

しゃらくかい 写楽同会

令和5年 初春の号 [vol.79]
(1・2月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2022 Sharakukai



イメージ写真

初春(1・2月)の兼題「新年の飾り」 出題: HSさん

写真俳句の部

(掲載ランダム)



輪飾りを抜けて願いこと数あまた

(季語: 輪飾り=新年)

昼寝覚



日英の文化交わる去年今年

(季語: 去年今年=新年)

千泉

[我家では12月28日に鏡餅を飾り、1月6日にツリーを仕舞います。]
(※イギリスのクリスマス期間は12/25~1/6迄です。)



鏡もち太って丸くてオレの顔

鏡もち太って丸くてオレの顔

(季語: 鏡もち=新年)

梵木



三方の
どこに逃げよか
うさぎ跳ね

三方のどこに逃げよかうさぎ跳ね

(季語: うさぎ=冬)

久芽



役目終へ汁粉に化けし鏡餅

役目終へ汁粉に化けし鏡餅

(季語：鏡餅=新年)

準坊



粛々と
飾りとなりぬ
白うさぎ

粛々と飾りとなりぬ白うさぎ

(季語：うさぎ=冬)

福未雀

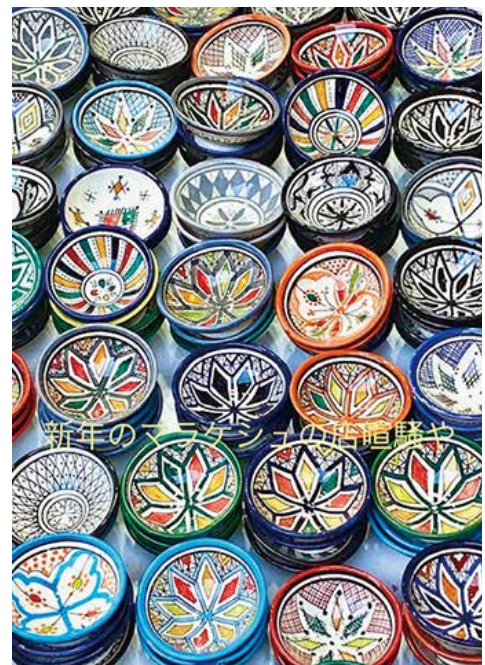


飾り終え
仕舞い支度の
小正月

飾り終え仕舞い支度の小正月

(季語：小正月=新年)

iSAMU



新年のマラケシュの店喧騒や

新年のマラケシュの店喧騒や

(季語：新年)

陽閑



金銀にまさる
思ひを

まゆ玉に

金銀にまさる思ひをまゆ玉に

(季語：まゆ玉=新年)

池福楼

俳句の部

(掲載ランダム)

教え子も今年還暦年始会 マム (季語:年始会=新年)

丸みつきウラジロ枯れし七日かな ^{なぬか} 久芽 (季語:七日=新年)
[輪飾りに使っているウラジロを詠みました。]

白混じる眉を飾りに初日受く 福来雀 (季語:初日=新年)

風吹くが気引き締める松飾り 梵木 (季語:松飾り=新年)

老二人小さき鏡餅年迎う 昼寝覚 (季語:鏡餅=新年)

赤々と砂漠に浮いた初月夜 陽閑 (季語:初月夜=新年)
[大きな赤い満月が砂漠から浮かび新年を飾って貰えた。]

^{だいだい} 橙をのせて整う鏡餅 千泉 (季語:鏡餅=新年)
[橙をのせないと小さな鏡餅は貧弱に見えました。]

門松も日の丸も無く一歳老い ^{ひとつ} 池福楼 (季語:門松=新年)

^{まつやに} 松脂の指にべと付く ^{まつおさめ} 松納 準坊 (季語:松納=新年)



季語抜粋

松納 (まつおさめ) = 門松を取り払うこと。普通には七日に取る所が多い。松取る。【新年】

去年今年 (こぞことし) = 元日の午前零時を境に去年から今年に移り変わること。
一瞬のうちに年が変わることの感慨が籠る。【新年】

七日 (なぬか・なのか) = 一月七日。七種粥を食べ息災を祈る風習がある。七日正月は元日から始まった正月の終わりの日とも、小正月の準備を始める日ともされる。【新年】

小正月 (こしょうがつ) = 一月十五日を中心にして祝われる正月。元日の大正月に対する呼び名。望(満月)の日を正月として祝った古い時代の名残で餅をついたり団子を作って祝う習慣が残っている。東北地方では小正月から月末までを花正月といった。【新年】

へえ~そうなの

橙 (だいだい) = 正月の鏡餅などの飾りには欠かせない橙は、中国から渡来したミカン科の常用高木の実。晩秋にだいだい色に熟して冬になってから挽ぐ、取らずにおくと次の夏に再び緑色になるので回青橙という。冬を経ても実が落ちないため「代代だいだい」に通じさせる。

千泉

輪飾りをつける車の今はなし [輪飾りをつけた車を見ませんでした]

カビ知らずパックが守る鏡餅

[子供の頃は鏡開きの前に母がカビを取っていました]

福来雀

今わかる分からなかったあの時は [喜寿にもなるとあれこれと]

難問は「いい事あるの？歳とって」 [ないこともないのだが]

新年に「相変わらず」のめでたさや [なにもないのが一番]

池福楼

十万円おせちに飽きてカップめん [いつもの味がイチバン!]

年賀状じまいしたけどポスト見る [来るものは拒まず]

ポチ袋目指して孫ら押しよせる [年金生活者のため息が]

準坊

松取れて一年の計早挫折 [今年も1週間で挫折しました]

年々に喪中葉書の多くなり [仕方のない事ですね]

え
笑み送る見知らぬ幼児笑み返す [無垢な笑みは最高]

陽閑

モロッコの猫も2023ご挨拶



次回春号兼題「たんぽぽ」

春(3・4月)の号 兼題「たんぽぽ」

イメージ写真

- 読者NOさんから初春3・4月号の兼題を「たんぽぽ」といただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。締め切りは令和5年3月20日です。

- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2022 Sharakukai